

# WG活動計画概要：農林水産WG

## 一名護市の農林水産分野における課題とToBe像

As-Is

内部環境	Strengths (強み)	<ul style="list-style-type: none"><li>● 市の65.7%が林野となっており、県内でも市有林が占める割合が高い</li><li>● 6次産業化の拠点施設である「なごアグリパーク」を有する</li><li>● 東シナ海と太平洋の両海域に面しており、西側・東側海域で水産物の漁獲が可能</li><li>● 名護漁協周辺エリアでの物産拠点の整備が検討されている</li></ul>
	Weaknesses (弱み)	<ul style="list-style-type: none"><li>● 県内都市部から遠隔地にあり、かつ県外の大消費地に遠く農林水産物の出荷の輸送コストが高くなる</li><li>● 従事者の高齢化の進行により、担い手が不足している</li><li>● 農業生産額の減少や遊休農地の拡大に歯止めがついていない</li><li>● 多品種少量生産により特産品のブランド化が進んでいない</li><li>● 小規模農家が多く、地域全体としてスケールメリットを活かしにくい</li></ul>
外部環境	Opportunities (機会)	<ul style="list-style-type: none"><li>● 国では省力化や高品質生産等に向けた先端技術の導入・活用を促進している</li><li>● 沖縄県中央卸売市場における果実や鉢物の取引単価が上昇傾向にある</li><li>● 北部テーマパーク開業により、今まで以上の観光需要拡大が期待される</li></ul>
	Threats (脅威)	<ul style="list-style-type: none"><li>● 国内の消費動向は変化しており、お米や野菜、魚介類の消費が減少している</li><li>● 農産物の取引に関する国際協定により、安価な農産物の輸入量増加が懸念されている</li><li>● 世界的な燃油価格高騰により、今後さらなる経営への影響が懸念される</li></ul>

ToBe

コンセプト

### 新たな先端技術活用により持続的な農林水産業が展開されるまちづくり（仮）

名護市の  
関連計画で  
整理された内容

- ① 持続可能な魅力ある農林水産業の振興～地域の特色を活かして創る農林水産業～
- ② 農業が職業として選択し得る魅力とやりがいのあるものとなるよう、効率的かつ安定的な農業経営を育成する

※①名護市農林水産振興計画/②農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想

目指す状態

名護市全体



- ✓ 農林水産物が安定的に生産・出荷できている状態
- ✓ 生産基盤の整備・維持管理がされている状態
- ✓ 先端技術を活用した効率的で環境負荷の低い持続可能な生産・物流体制が構築されている状態

農林水産事業者



- ✓ 新規に事業参入した若者及び後継者が増えている状態
- ✓ 先端技術を活用した効率化・生産性向上が実現できている状態
- ✓ 多様な販路を確保できている状態
- ✓ 科学的手法による農業経営がなされている状態

市民/観光客



- ✓ 市内で生産された農林水産物が市民を中心に県内で消費されている状態
- ✓ 観光客を通じて「なご産」の農林水産物が県外でも消費されている状態